令和5(2023)年度　下條小学校　グランドデザイン

VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)時代

自然と伝統　人が織り成す　下條村
～伝統と共にいつまでも健やかで
いられるむらづくり～
郷土に愛着と誇りを持ち、時代の変化に対応できる基礎力を育む

学校教育目標
自ら学ぶ子（　しっかり学習　）
心豊かな子（　もとう思いやり　）
健やかな子
（めざそう　じょうぶな子）

願う学校像
□希望や勇気にあふれ「ひとりだち」をめざして進む学校　【自律】
（望勇の精神）
□明るい声が響き合い、笑顔あふれる下條小学校　【笑顔】

学校を取り巻く環境と児童の実態
○学習にまじめに取り組み、基礎力が定着
○教室で学んだことを地域に出て深めようとする
○目標の達成に向けて努力でき、自分の役割を果たそうとする気持ちが強い
○「友だちを大切にしたい」「困っている人を助けたい」という願いを持つ子どもが多い
○自分の考えや思いを伝える力が伸びてきている
●学んだことを生活や次の学びに生かす力
●相手の様子を細やかに感じ取って関わる力
●場に応じた言葉遣い

学校経営方針　　自律と笑顔
1　子どもにとって安心・安全な学校
2　子ども一人一人の人格を尊重し、内なる力を伸ばし、自ら学ぶ教育を進める。
3　職員の和を大切にしながら切磋琢磨し、学び続ける職員集団をつくる
4　地域・保護者に信頼され、社会に開かれた学校にする。
5　社会の大きな変化や未知の状況に対応できるひとづくりを進める。
6　教育環境の整備充実を図る。

重点　「自律をめざし、笑顔・やさしさあふれる下條小学校」のために
■　自分の考えを持ち、自分の思いや考えを伝え合う力を伸ばす
■　自己有用感を育むための活動を工夫する
～ ①自己決定　　②失敗をいかす　　③振り返りの充実 ～

しっかり学習

□協働的に追究する(学び合う)喜びや成就感を感じる指導
～主体的・対話的で深い学び～
①　３観点(ねらい･めりはり･見とどけ)を意識した授業の質的向上
②　話し合い活動の充実（ペア・グループ）
③　表現力（伝え合う力）を高める指導
表現の受け止め方の指導
共通点と相違点　　気づきの良さ
④　学び合いを支える環境整備
物的環境と人的環境の充実
□基礎学力定着のための重点的な取組
①　読解力の向上
②　ドリルタイムの充実
児童が主体的に選択できる運営
③　適時の個別指導
④　家庭学習の充実　～自分に必要な学習を自分で計画を立てて進め見返す力～
⑤　読書タイムの充実
□多様性に対応できる学習指導の工夫
～特別支援教育の充実～
①　合理的配慮
②　通級指導教室サテライト校
③　特別支援コーディネーターを中核とした支援体制のマネジメント
④　児童の特性に応じた指導力向上
□ＰＤＣＡサイクルによる学力向上の検証
□ＩＣＴ教育の充実
タブレットの日常化（学校・家庭）
□授業改善の方向
試行錯誤しながら学ぶ　誤答から学ぶ
根拠を問う　　自分らしい学びの実現
□教職員の指導力向上に向けた研修
①　重点研究の改革
自発的形成　子どもから学ぶ振り返り
②　保・小・中連携における研修

○学校自己評価
「授業がわかる」　90%→ ９３%
「自分の考えを、わかりやすく伝えることができる」 73%→ 76%

もとう思いやり

自己有用感を高めるための取組
□居心地の良い学級づくり
①　役に立つ経験･認め合い
「ありがとう」を捉えられる完成を磨く
心理的安全性があり、違いが認められる
②　Ｑ－Ｕ検査の実施と考察・活用
□異年齢活動の充実　～ 多様な他者と関わりながら自分のあり方を考える～
①　連学年での合同授業
②　姉妹学級での交流活動
□異世代活動の充実
～地域の方の思いに学ぶふるさと学習～
体験的な活動の充実
□キャリア教育の充実
①　はたらく体験の充実
しもじょっ子家庭の日（お手伝い）
②　キャリアパスポートの活用
□人権教育の充実
□道徳教育の充実
重点目標…誰に対しても分け隔てしない
公正公平
□生活向上　～児童会での自治活動～
①　場に応じた言葉遣い
②　さわやかなあいさつが響く学校

○学校自己評価
「学校が楽しい」　91%→ 90%
「友達は自分の良いところを分かっていてくれる」　93%→ ９５%
「ありがとうをたくさん使う」
96%→95%

めざそうじょうぶな子

困難や失敗に出会っても
くじけない心や力を育む
□みんなで進める運動、
生活習慣づくり
①　登下校は歩くことの推奨
②　体力向上プランに基づく授業づくり
体力テストのデータに基づく指導
③　全校運動の充実
④　めあてと振り返りのある体育的行事、体育の授業
⑤　基本的な生活習慣の確立
⑥　食育の推進　朝ご飯を食べて登校
⑦　健康教育
重点：歯科・視力・治療率の向上
□相談しやすい学校づくり
いじめ・不登校の未然防止と早期対応
①　心と体の相談室の周知と活用
②　相談窓口の複数化　相談週間
③　外部機関との連携
□安心安全の学校づくり
①　通学路の安全点検
②　危機管理体制
③　主体的に取り組む防災教育

○学校自己評価
「外に出て遊び、体を鍛えている」
77%→ 80%

□働き方改革の推進
～質の高い授業を実現するために～
Ｃ４ｔｈ導入による業務の見直し

地域・家庭とともに歩む学校

□しもじょっ子カッセイカ会議（コミュニティスクール）の推進
～地域、保護者、学校が一体となって願う子どもの姿を共有し、児童を育成～
◎地域の人の温かさに触れる活動　　◎子どもの育ちを語り合う場の設定
①家庭学習の手引きの修正と活用　　②小中9カ年のキャリア教育カリキュラム
③活動状況の発信　･･･認知度Up　　④ネット利用に係る家庭ルールの徹底
⑤第三の居場所の有効活用　　⑥不登校児童への対応
⑦家庭での生活リズムの振り返り　　⑧課題探求型の学びの推進